

■開催趣旨

次代を担う子どもたちが、いつ、どこで起こるかわからない災害に向けて、自分自身が暮らす地域では、どんな備えがしてあるか、見て歩き、これからの暮らし方を考える防災まちあるきの実施

■期日

2016年6月12日（日）9：00～12：30（3時間30分）

■会場

加古川市立野口公民館 2階 講義室

■参加者

54名（子ども25名、子ども会育成者10名、町内会役員7名、NPO団体職員3名、小学校教諭2名、青年リーダー7名）

■概要

災害への備えの大切さを伝える防災活動ハンドブック「子ども会でまなぼうさい活動BOOK」をもとに、防災・減災の視点でまちを見て歩き、日ごろからの暮らし方を考えた。

■実施スケジュール

時間	内容
9：00	あいさつ 加古川市少年団指導者協議会会長 原忠司
9：05	オリエンテーション
9：15	お話し「防災・減災について私たちにできること」
10：15	まちの再発見！防災まちあるき ・アイスブレーキング ・まちを歩いて探検する時間 ・まちを歩いて見つけてきたものをまとめる時間 ・まちを歩いて見つけてきたものをわかちあう時間 ・体験から感じたことをわかちあう時間
12：30	あいさつ 加古川市少年団指導者協議会副会長

■プログラム運営チーム

講師（語り部） 加古川市少年団活動支援部 渡邊光弘
スタッフ・記録 子ども会防災リーダー 7名

■会場の様子



受付



語り部



まちあるき



発表

■こどもたちによる防災の心得

- ・家族で安全マップをつくる
- ・家族で災害について話をし、避難の練習をする
- ・いろんな避難場所を少しでも多く知っておく
- ・5日分の水と保存食を用意しておく
- ・いつでも落ち着いて行動すること
- ・家の周りの地形を調べておく
- ・危険なところに1人で近寄らない